

## 提案型協働事業計画書（活動支援交付金）

団体名	特定非営利活動法人ほがらか企画		
	設立年月日	2013年3月13日	団体の構成人数
1 事業の名称及び実施期間	<p>名称：第2回職業体験イベント「きつずどりーむ」          期間：2020年9月12日 午前10時～15時（予定）</p>		
2 該当する町の施策方針	<p>「22のめざすべきまちの姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子どもを生み育てることができるまち</li> <li>・高齢者や障害者がいきいきと暮らしているまち</li> <li>・産業が活性化しているまち</li> <li>・住民が誇りを持って生活しているまち</li> </ul> <p>「61の施策方針」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみで子どもを育てる</li> <li>・障害者の自立を応援する</li> <li>・産業基盤を強化する</li> <li>・子どもや若者に武豊を知ってもらう</li> </ul>		
3 解決へ向けて取組む 地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後人口減少や少子高齢化が進む中、みんなが輝くまち武豊町として、障害のある子もない子も、地域ぐるみ、まちぐるみで育てていく次世代育成も必要である。</li> <li>・そして、この児童期から地元産業等の職業体験を積むことが、活力あるまちを維持していく仕組みづくりにもつながると考える。</li> </ul>		
4 協働対象部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉課</li> <li>・学校教育課</li> <li>・産業課</li> <li>・企画政策課</li> </ul>		
5 事業の内容等	<p>(1) 事業内容と方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、前回実施したアンケートを参考にしながら、第1回（事業報告書参照）と同じように、①職業体験ブース10種類程度。②ボッチャ体験・スマホ安全教室などの父母・ご家族も参加出来る企画。③協力団体や主催者によるバザーなどで構成する。</li> <li>・また、①は前回実現できなかった、地元産業に関わる職業体験の具体化を行う。②は内容検討。③は今後の運営基盤作りも考えた金額目標など検討する。</li> </ul> <p>(2) 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武豊町中央公民館</li> </ul> <p>(3) 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武豊町内の小学校に通う児童と町内放課後等デイサービスなどに通う支援等をする児童（18歳未満）120名程度。及びそのご家族など、総勢250名程度。</li> </ul> <p>(4) 事業PRの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人及び武豊町ホームページ、広報に掲載。町内全小学校児童への配布（3,000枚）。その他マスコミ等への周知。</li> </ul> <p>(5) その他</p>		

6 事業実施により期待される効果	<p>①障がいのある子もない子も早い時期から、楽しく職業体験を積み重ねていくことで、将来の職業選択をじっくり考えたり、武豊町ならではの特性を活かした仕事を知ったり、自分らしく活躍できる場所を見つけ出すきっかけをつくることができる。</p> <p>また、保護者、家族と参加することで、体験後の話題作り等につなげることが出来る。更に、障がいのある子どもについては18才までを対象とし、より継続的な支援の場所を作ることができる。</p> <p>②今ある地元産業活性化事業と合せ、児童期からの職場体験の積重ねにより子どもたちが地域で働いていく環境づくりが進む。</p> <p>③行政・関係団体・企業・住民等が協働し、準備や運営を行うことで、幅広い社会的な連携や異業種交流の促進を図る事ができる。</p>
7 事業の特徴	<p>①基本的な対象児は町内小学生であるが、障がい児については18歳までとして、より継続的な経験づくりを大切にしている。</p> <p>②子どもの体験企画ではあるが、家族の関わりを深める目的ももち、保護者や家族と一緒に楽しみながら参加できる内容である。</p> <p>③広く社会的な連携促進を図る事を目的として、前回も運営組織構成を、行政・関係団体・企業・住民等が協働する方法で実施した。</p>
8 今後の事業ビジョン	<p>①組織運営面では、前回の行政・企業・関係団体・住民等が協働して準備や当日運営を行った経験を更に活かし、協力団体等による実行委員会の組織づくりを目指す。</p> <p>また、運営面では、3年間の活動支援交付金獲得を目標にし、その間に、協賛金や広告、バザー収入等による安定した運営基盤づくりを課題にする。</p> <p>②今後継続的な職業体験イベントを取り組む中で、一ヵ所1日の企画には限界もあり、例えば、同じ日にメイン会場の他、農場や現場での体験など複数の場所で開催する運営や、同じような職業体験企画との連携や情報収集を行い、子どもたちの職業体験の場が武豊町内でどのようにになっているのかを調査した上で、「きっずどりーむ」の持つ役割や位置を整理し発展させる。</p>
9 他の交付金等への申請状況 (交付金名 ・予算額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
10 その他	<p>・武豊町内では、中学生は職場体験、中高サマーボランティア（福祉関係）・近隣大学では「実習やサービスラーニング」等の活動があり、地域では観光協会の地元産業体験企画等もあることから、対象者を小学生にしている事と、特に障がいや支援を要する児童については継続的な支援を行うことを大切にし18才までとしている。</p>

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。